

大学スポーツの可能性 とファンドレイジング

桜美林大学 健康福祉学群 教授
小林至

**大学スポーツは
ファンドレイジング
の触媒になれる**

大学コミュニティのシンボルとして

➤ 帰属意識を高める役割を果たせる

大学コミュニティのシンボルとして 帰属意識を高める役割

- **大学コミュニティの構成者＝在校生、教職員、卒業生、地域住民**

- **寄附を呼び込むには、大学コミュニティへの帰属意識の向上が重要**

- **運動部はシンボル**

- ✓「うちの大学が箱根駅伝で・・・」

- ✓「うちの卒業生が、オリンピックで・・・」

- ✓「うちの野球部員が、NPBのドラフトで・・・」

運動部(員)のネットワークの活用

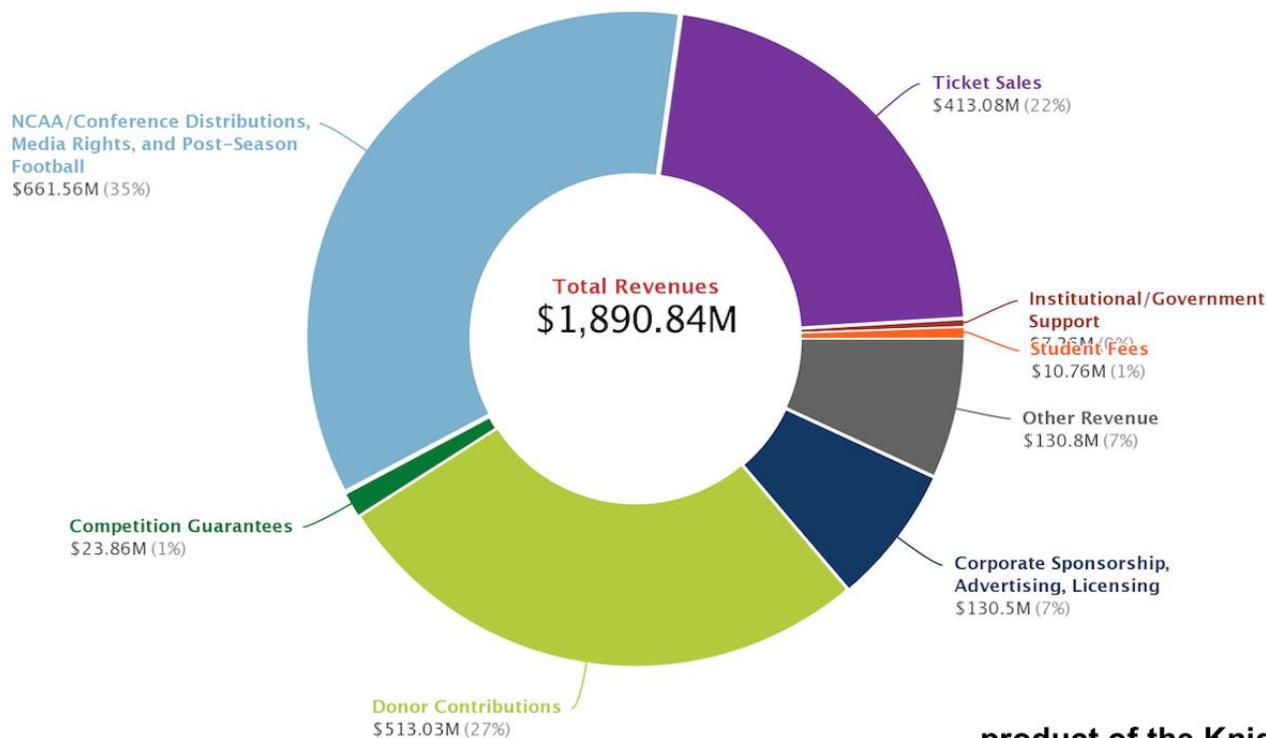
運動部(員)のネットワークの活用

- **運動部員20万人(推定、1学年5万人)**
 - **部員1人につき4人(平均)の熱心な応援者がいる**
 - ✓(両親、祖父母、彼氏、彼女、親友・・・)
- **多くのOB(OG)会は、組織化、データベース化されている**

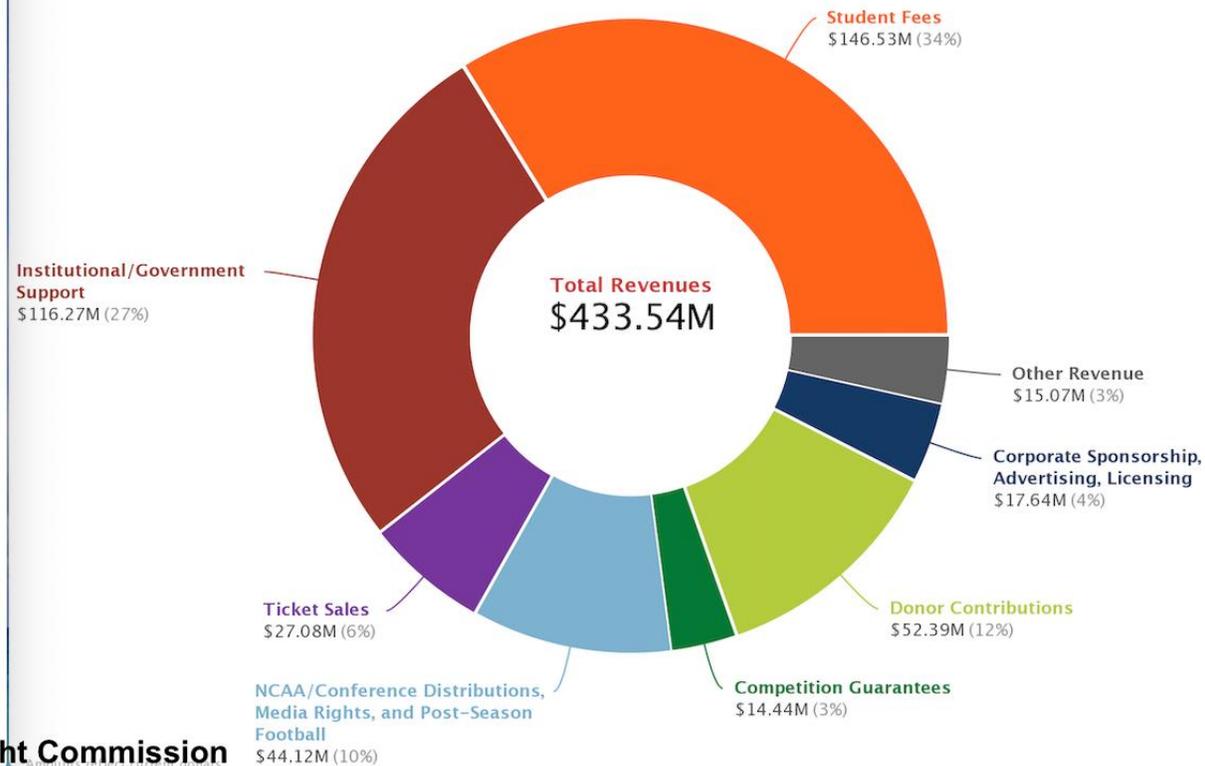
大学スポーツの特性
【シンボル、ネットワーク】
最大限に活用しているのがアメリカ

アメリカではアメフト、バスケットを中心とした部活動が寄附を呼び込んでいる

SEC (2018)



C-USA (2018)



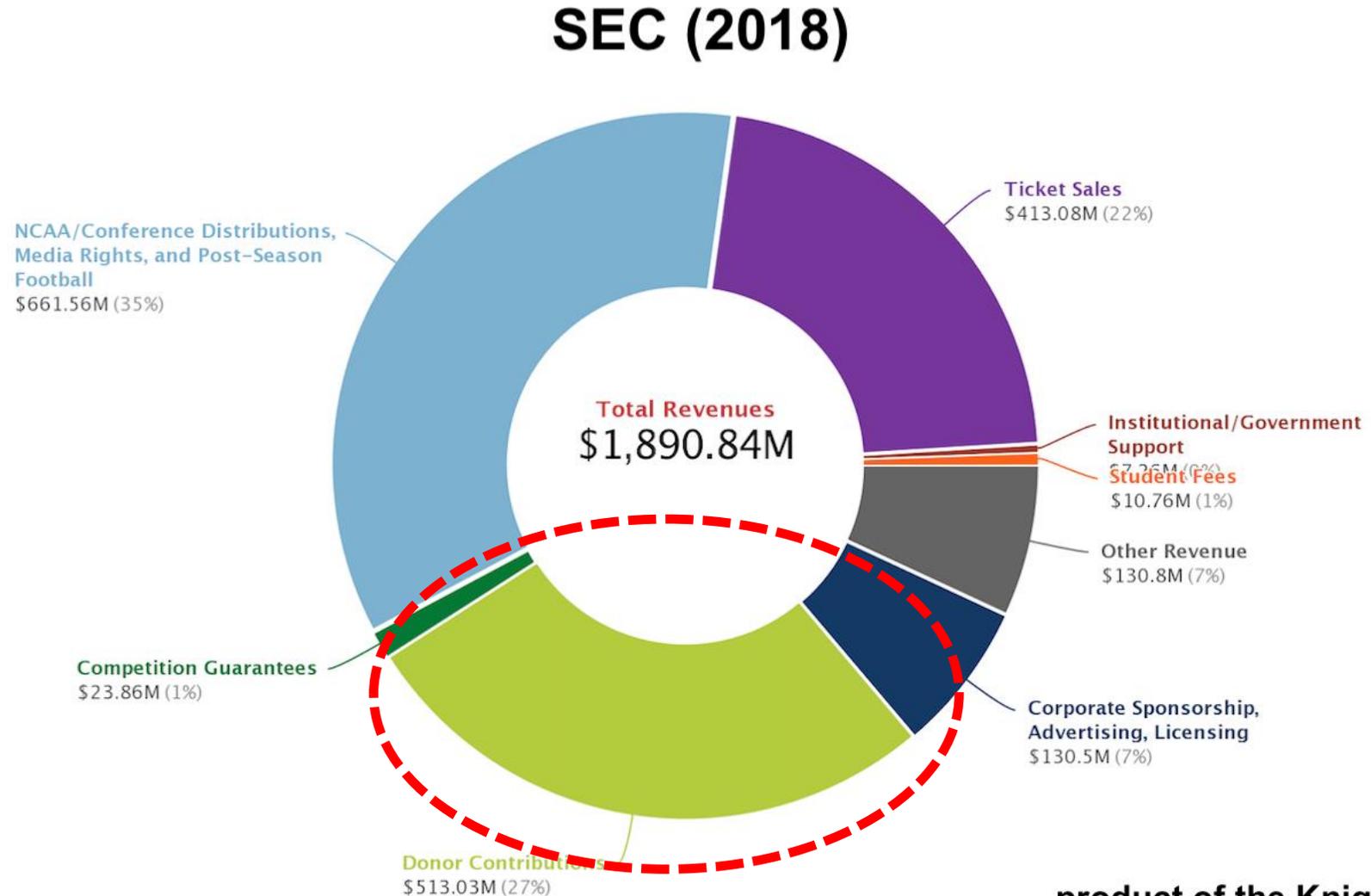
product of the Knight Commission

Sothern Eastern Conference

(5大カンファレンスのひとつ、Texas A&Mなど14大学で構成)

✓ 加盟大学の総売上
18億9084万ドルのうち
27%が寄附

✓ 1大学平均寄付額
3664万ドル

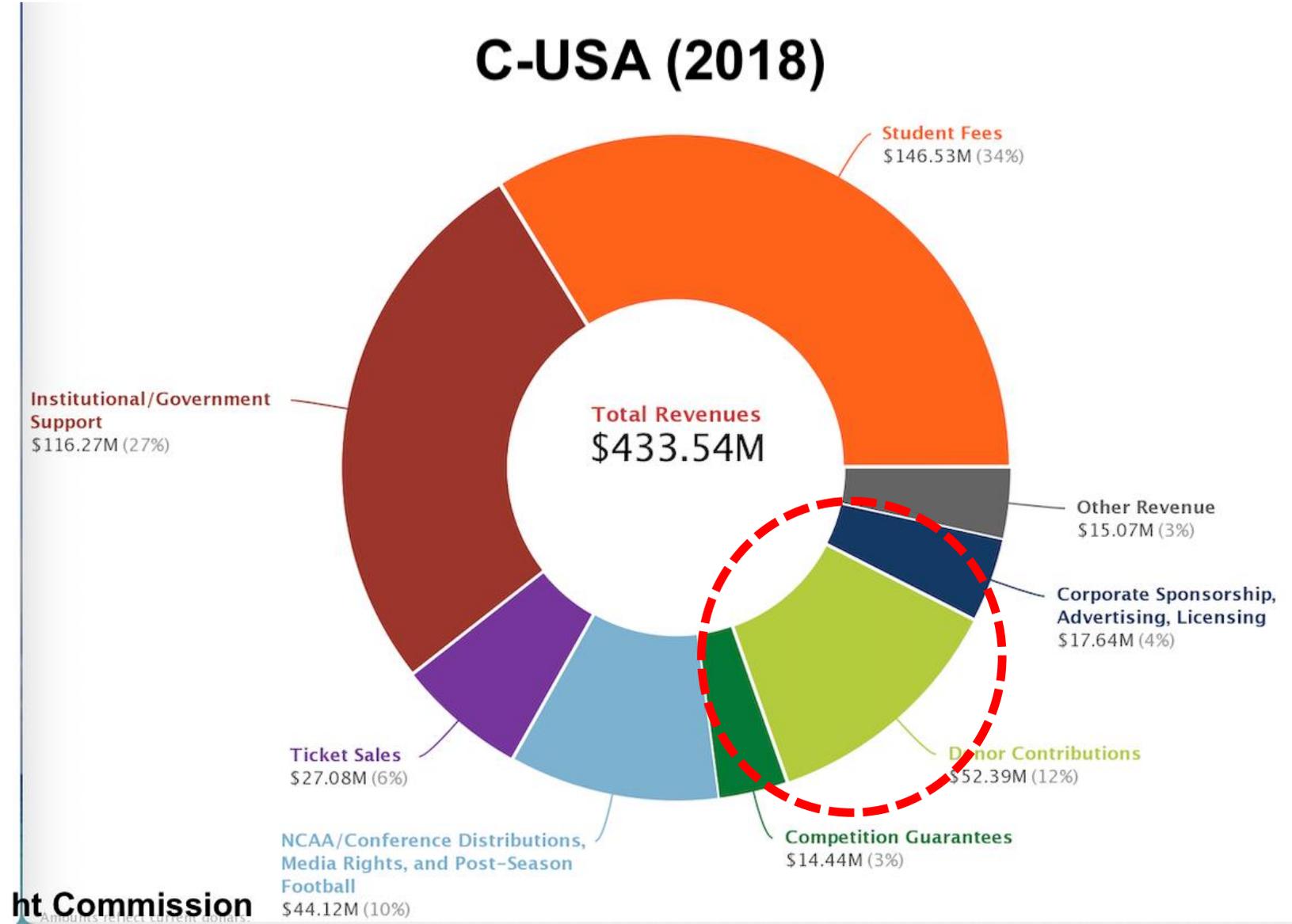


Conference USA

(中規模カンファレンス、14大学で構成)

✓ 加盟大学の総売上
4億3354万ドルのうち
12%が寄附

✓ 1大学平均寄付額
374万ドル



**NCAA加盟大学の運動部
(→大学当局)への寄付金総額
12億ドル超**

NCAA (National Collegiate Athletic Association)

全米大学スポーツ協会

- **大学スポーツの中央統括機構**

- **所属大学の運動部間の連絡調整、管理など、さまざまな運営支援**

- **1117の加盟大学**

- ✓ **46万人以上の選手 Student-athlete**

- **当該競技に関わる自己負担なし**

- **訓練費用、用具、遠征費など**

- ✓ **40の競技、90の大会の運営**

- ✓ **3つのディビジョン**

- **DI-351, DII-308, DIII-443**

- **専任スタッフ500人**

NCAA加盟大学の運動部(→大学当局)への 寄付金総額は12億ドル超

- **卒業生から**

- **地元企業や地元の名士から**

- 寄附の最大のモチベーションは、アメフトやバスケットボールの試合における特典(優先権)

- ✓ プレミアシートやスイートルームの優先購入権

- ✓ 専用入場口

- ✓ 専用駐車場(バレーサービス)

**アメリカのような巨額の寄附金を
募るのは、日本では難しいかもし
れませんが……**

**大学スポーツ(運動部)は
学内をまとめ、学外とつながる
シンボルにはなれるのでは**

たとえば、卒業生、地元企業・個人……
1万円×1万人=1億円を目指しては

**多くの大学運動部は
ファンドレイジング(部費、活動費の調達)を試みている**

✓OBや支援者を対象に

- **友好(ライバル)関係にある大学との対抗戦**
- **スクール事業・・・etc・・・**
- **スポンサーシップ**

こうした個別の動きを 大学の寄附活動に取り込んではどうか

➤たとえば・・・

- **ホームカミングデーで、ファンドレイジングを目的とした対抗戦を一斉開催**
- **(各部それぞれバラバラの)ウェア・ギアのロゴ、カラーを統一**
 - **シンボルですから**
 - **公式スポンサー**
 - ✓ **アパレル企業、教材、施設、文具、旅行、就職、クレジットカード、etc・・・**

運動部を活用した ファンドレイジング活動で 効果をあげるには

必要最低条件:

- ◆ 継続的なCRM (Customer Relationship Management)
 - ・ プロリーグや定期演奏会のチケット販売、
地方議会・首長の選挙活動と同じ
- ✓ 組織化(データベース化)
- ✓ マーケティング

**学内をまとめ、学外とつながる
ハブが必要です**

**運動部を統括する部署
アスレチック・デパートメント(AD)**

米英の大学には必ずあるAD

• 学長直轄の組織

- 人事、会計、マーケティング、広報、施設運営、学生支援（学業、奨学金など）
- ファンドレイジングは、アスレティック・デパートメント(AD)の最重要業務
 - ✓ ファンドレイジングは、運動部のレゾンデートル！
- 小規模大学(予算100万ドル以下)の場合は、マーケティング・営業に長けた教員が兼務することも

日本においても近年 複数の大学が、本格的なAD局を設置

筑波大、日体大、福岡大etc…

大学スポーツを通じて 大学全体の振興を図っている大学

スポーツ庁が『大学スポーツ振興の推進事業』を公募・選定しています

過去の成果報告書

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1417761.htm

現在、採択されている大学の取組

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1421596.htm

大学スポーツ振興の推進事業選定大学(2019-2020) ①

	大学名	取組の具体例
1	愛知学院大学	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ分野統括組織の設置 ・学内スポーツの活性化と地域スポーツ連携事業の推進 ・学生アスリートの入学前プログラムの開発
2	四国大学	<ul style="list-style-type: none"> ・四国大学スポーツ推進機構の設立 ・強化指定6競技部のスポーツフェスタ実施による地域活性化とスポーツ文化の振興 ・大学対抗試合(ホーム&アウェイ型)の開催による大学スポーツ応援機運の醸成
3	中京大学	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツビジネスイノベーション『スポーツ×子育てフェスタ』の試験的实施 ・東海地区スポーツアドミニストレーター研修会の実施及びネットワーク構築
4	帝京平成大学	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ局と自治体などとの連携による地域貢献、地域活性化の施策の立案 ・女性トップアスリートの競技力向上及び傷害予防に関する研究
5	長崎国際大学	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツプロモーション事業(以下、SP事業) ・学生スポーツアドミニストレーター事業(以下、SA事業) ・SP事業+SA事業=人口流出県:長崎県に対するスポーツ振興を伴った「地方創生」に関する人材育成事業の可能性
6	関西大学	<ul style="list-style-type: none"> ・学生アスリート向けキャリア形成支援プログラム「KSAP(※)」の推進 ・自治体や総合型地域スポーツクラブと連携したスクール事業・地域貢献活動の拡充
7	国士舘大学	<ul style="list-style-type: none"> ・大学スポーツの安全・安心の確立に資するプラットフォーム構築事業 ・スポーツ倫理・教育に関するワークショップの開催及び教育プログラムの開発事業

大学スポーツ振興の推進事業選定大学(2019-2020) ②

	大学名	取組の具体例
8	仙台大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ホーム&アウェイ方式での試合の試行的な実験実施 ・大学情報のさらなる発信強化をめざした「仙スポ！」の運用
9	東京国際大学	<ul style="list-style-type: none"> ・国際スポーツアドミニストレータ育成のための国際経験豊富なスポーツ指導者によるスポーツ教育とネイティブ教員による品格ある英語教育の推進 ・スポーツ医科学的理論に基づく外傷・障害予防策の導入の推進
10	新潟医療福祉大学	<ul style="list-style-type: none"> ・アスリートの障害発生予防を目的とした調査研究と予防的介入活動 ・新潟医療福祉大学版 学生アスリートのキャリア形成支援プログラムの構築
11	法政大学	<ul style="list-style-type: none"> ・学生アスリートが自分らしいキャリアを選択し、『スポーツ・ライフ・バランス』を実現するための支援モデルの構築とその実施
12	武庫川女子大学	<ul style="list-style-type: none"> ・種目別マスコットキャラクターデザイン、クラブPR動画の作成 ・汎用アプリケーションを活用したARポスター制作・情報発信
13	山梨学院大学	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携を中心とした本学カレッジスポーツのPRとマーケティング ・本学スポーツシーズ(スポーツ科学の知見等)を活用したスポーツ情報の発信 ・活動の実施主体となる「スポーツ振興特別委員会」の設置

**大学経営に大学スポーツを
活用することを
推進している団体があります**

**一般社団法人大学スポーツ協会
UNIVAS**

UNIVAS

- **大学スポーツの振興、活性化を通して、大学の発展を図るための大学横断的競技横断的な統括組織**

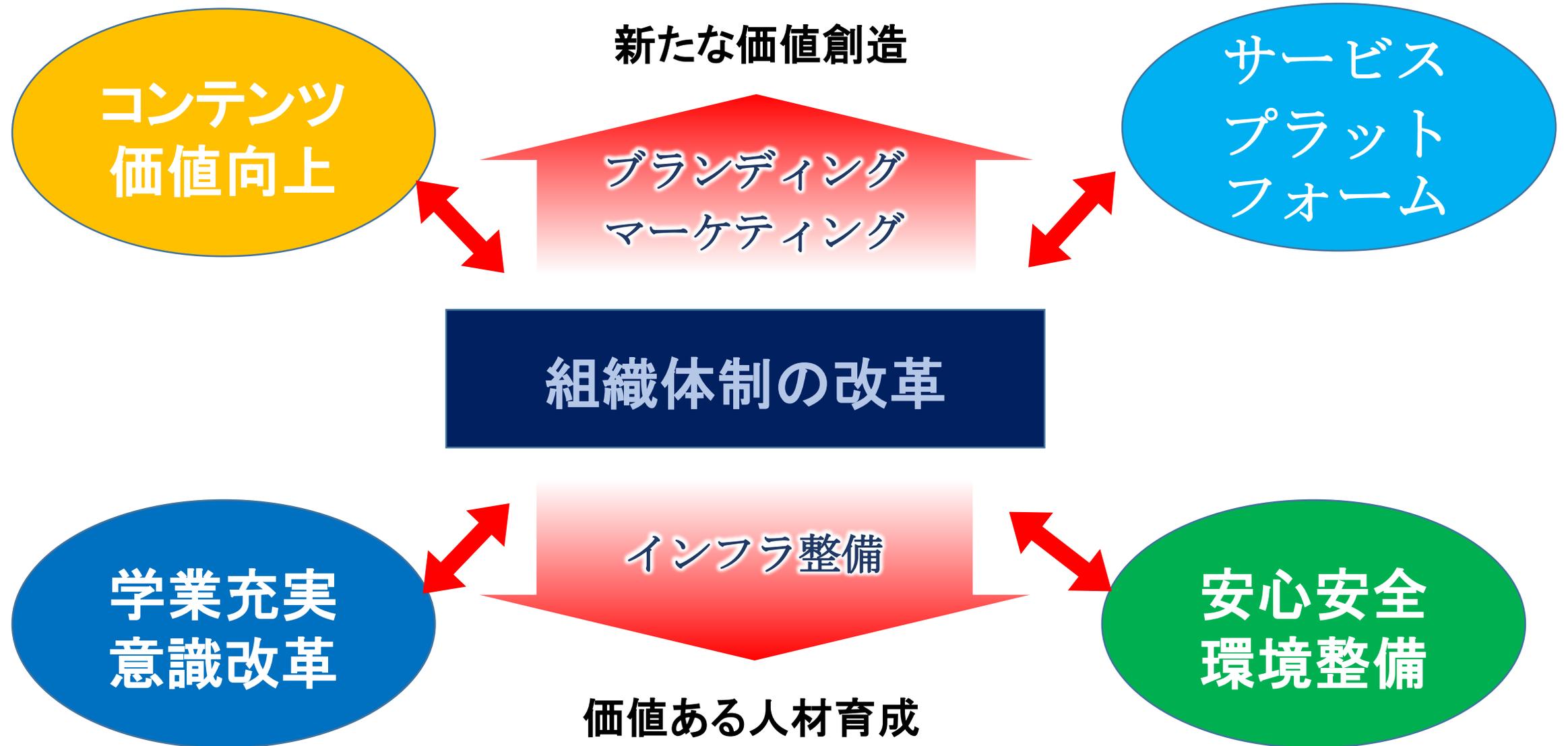
- **2019年3月設立**

- **鎌田薫会長(前早稲田大学総長)**

- **加盟大学222大学**

- ✓ **国公立26、私立170、短大20**

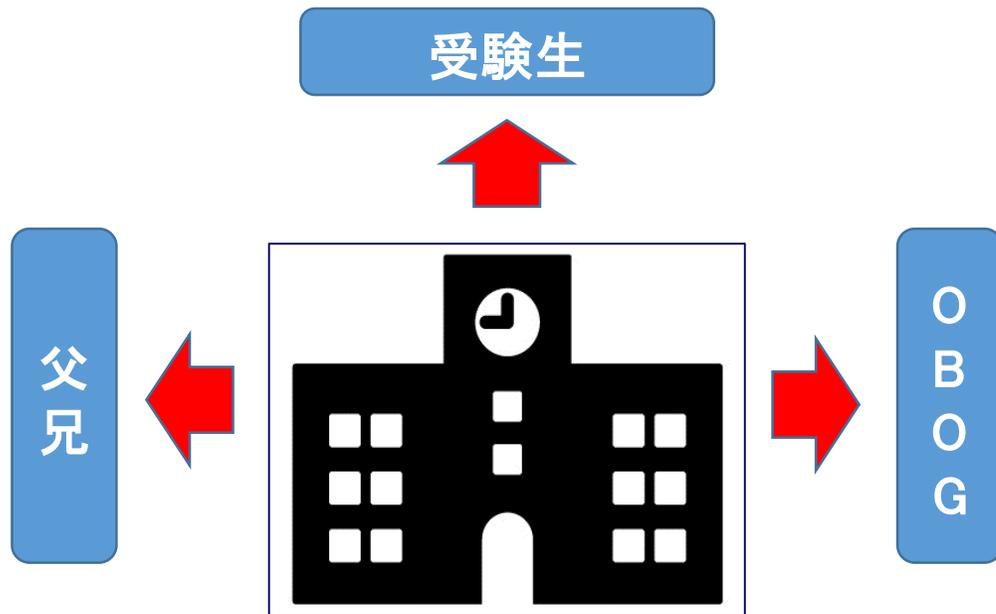
UNIVASが取り組む5つのテーマ



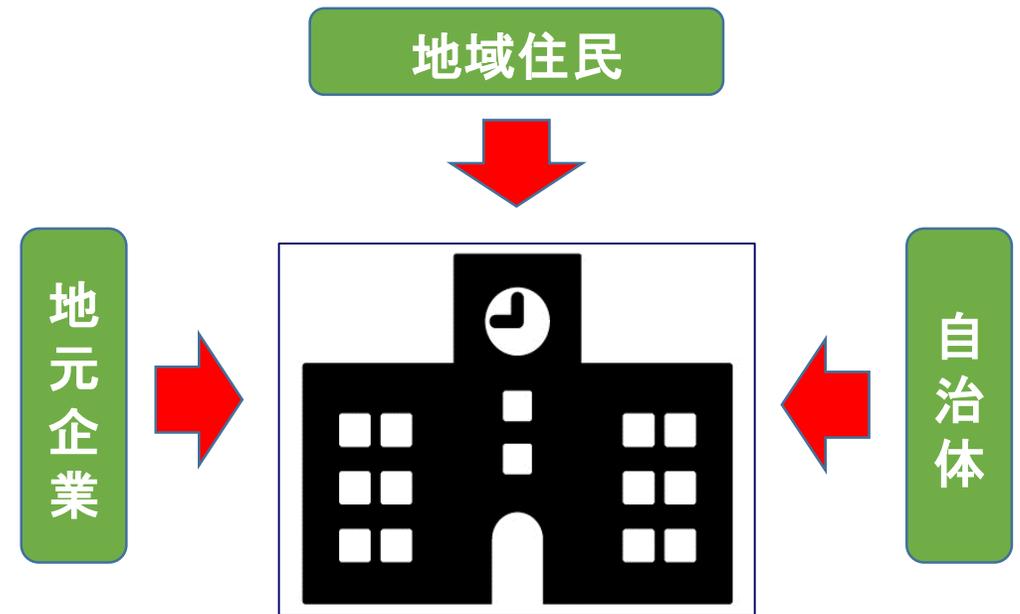
今後の成長ビジョン (UNIVAS⇔AD)

スポーツによる大学のブランディング・地域での存在価値発揮

スポーツの持つ情報力を活用
した大学アイデンティティの発信



スポーツの持つ大衆性を起点にした
地域のコミュニケーション拠点化



ご清聴ありがとうございます
ございました

